

## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月8日

上場会社名 株式会社 ヨンキュー  
 コード番号 9955  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 泰文  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 江良 林一

上場取引所 JQ  
 URL <http://www.yonkvu.co.jp/>  
 TEL : (0895) 24-0001

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期 第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期 第3四半期	27,523 △ 13.3	106 △ 88.7	217 △ 79.1	64 △ 86.3
19年3月期 第3四半期	31,746 △ 0.1	943 △ 18.0	1,041 △ 18.2	474 16.6
19年3月期	40,200 —	1,238 —	1,431 —	524 —

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当 り四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期 第3四半期	5 72	— —
19年3月期 第3四半期	41 70	— —
19年3月期	46 11	— —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期 第3四半期	24,516	19,258	78.6	1,700 96
19年3月期 第3四半期	24,955	19,377	77.7	1,704 77
19年3月期	23,237	19,430	83.6	1,710 15

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期 第3四半期	△ 640	△ 249	△ 219	6,334
19年3月期 第3四半期	308	316	△ 188	10,256
19年3月期	731	△ 2,910	△ 194	7,445

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	35,658 △ 11.3	139 △ 88.8	281 △ 80.4	138 △ 73.7	12 17

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成20年3月期の連結業績予想は、平成19年10月31日付「平成20年3月期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました内容を記載しております。

また、本業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、一方で米国経済の減速懸念、原油価格や素材価格の上昇による商品価格の値上げ等の影響で、景気の先行きは不透明感が増しております。

また、当社グループを取り巻く水産業界におきましては、水産物の消費低迷や餌代・燃料費等の経営コストの上昇から、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

この様な状況の中、当第3四半期の業績は、まず「鮮魚の販売事業」では、前半は天然物の水揚量の増加や異常気象の影響、後半は相次ぐ食料品の値上げ等、物価上昇の影響により水産物消費も低調に推移致しました。

また、「餌料・飼料の販売事業」では、7月に発生致しました宇和海の赤潮による給餌制限(餌止め)、更には餌代の高騰から給餌削減の影響も加わり販売数量が大幅に減少、費用面では当第3四半期末までに貸倒引当金を5億96百万円計上したことにより、売上・利益共に前年同期を大幅に下廻る結果となりました。

その結果、当第3四半期の売上高は275億23百万円(前年同期比13.3%減)、営業利益は1億6百万円(前年同期比88.7%減)、経常利益は2億17百万円(前年同期比79.1%減)、四半期純利益は64百万円(前年同期比86.3%減)となっております。

また、当期の連結業績予想数値に対する当第3四半期時点での進捗率は、売上高77.2%、営業利益76.4%、経常利益77.4%、当期純利益47.0%となっております。

### 事業の種類別セグメントの業績(売上高)について

区 分	平成19年3月期 第3四半期金額 (百万円)	平成20年3月期 第3四半期金額 (百万円)	対前年同期比較			
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)	数量差異 (トン)	価格差異 (円/1kg当り)
鮮魚の販売事業	22,949	18,917	△ 4,031	△ 17.6	△ 1,691	△ 88.1
餌料・飼料の販売事業	8,582	8,395	△ 186	△ 2.2	△ 18,698	13.7
その他の事業	215	210	△ 5	△ 2.5	—	—
合 計	31,746	27,523	△ 4,222	△ 13.3	—	—

(注) 1. 鮮魚の販売事業における対前年同期比較(数量及び価格差異)は、鮮魚販売のみで集計・比較しており、単位の異なる稚魚及び人工ふ化稚魚の販売は除外しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前年同期末に比べ4億38百万円減少し、当第3四半期末には245億16百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

尚、総資産の減少の主な要因は、繰延税金資産の取崩と現金及び預金の減少等によるものであります。

また、純資産は192億58百万円、自己資本比率は総資産の減少により0.9ポイント上昇し、78.6%となっております。

次に、当第3四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、売上債権及び短期貸付金の増加等により、前年同期末に比べ39億21百万円減少し、当第3四半期末には63億34百万円(前年同期比38.2%減)となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における業績は、売上高はほぼ計画通りに推移しておりますが、販売数量の減少により利益が減少、一方でランニングコスト等は計画数値を下廻ったものの、養殖業者に対する債権回収の長期化並びに魚価低迷の影響等から貸倒引当金の追加計上が発生し、利益面では計画数値に対して少し乖離した状況にあります。現時点では、今後の市況など不透明な要因も多いことから平成19年10月31日公表の連結及び個別の業績予想数値を据え置くことと致します。

また、今後において「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに発表させていただきます。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

四半期におけるたな卸資産のたな卸高は、前連結会計年度に係る実地たな卸高を基準として、帳簿たな卸により算定しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産並びに投資不動産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより営業利益が12,736千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ12,795千円減少しております。尚、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

(追加情報)

法人税法改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これにより営業利益が8,999千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ9,164千円減少しております。尚、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

4. (要約)四半期連結財務諸表  
(1)(要約)四半期連結貸借対照表

区分	前第3四半期 (平成18年12月31日)		当第3四半期 (平成19年12月31日)		前連結会計年度 (平成19年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金	10,296,085		9,745,580		10,833,663	
2. 受取手形及び売掛金	7,453,816		7,995,387		5,639,692	
3. 有価証券	599,341		601,256		599,730	
4. たな卸資産	406,154		384,779		462,830	
5. 繰延税金資産	48,415		243,702		87,252	
6. 短期貸付金	987,697		1,397,462		853,201	
7. その他	343,058		123,545		183,413	
貸倒引当金	△173,771		△650,373		△136,880	
流動資産合計	19,960,797	80.0	19,841,340	80.9	18,522,903	79.7
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	462,772		438,047		455,976	
(2) 機械装置及び運搬具	261,719		251,419		249,680	
(3) 工具器具備品	61,310		59,377		69,753	
(4) 土地	1,354,067	2,139,870	1,382,067	2,130,912	1,354,067	2,129,477
2. 無形固定資産		9,473		12,556		14,745
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	955,747		912,534		990,678	
(2) 投資不動産	344,803		329,456		340,955	
(3) 繰延税金資産	482,703		219,222		161,410	
(4) その他	1,443,972		1,494,189		1,417,881	
貸倒引当金	△381,570	2,845,657	△423,295	2,532,106	△340,287	2,570,637
固定資産合計		4,995,000		4,675,575		4,714,860
資産合計		24,955,798		24,516,916		23,237,763
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	3,927,851		3,757,581		2,161,808	
2. 未払法人税等	166,156		151,214		331,438	
3. 賞与引当金	8,950		8,812		36,823	
4. 役員賞与引当金	35,025		—		—	
5. その他	538,127		477,779		439,150	
流動負債合計	4,676,110	18.7	4,395,388	17.9	2,969,220	12.8
II 固定負債						
1. 退職給付引当金	155,840		154,958		152,957	
2. 役員退職慰労引当金	746,162		708,199		685,193	
固定負債合計	902,002	3.6	863,157	3.5	838,150	3.6
負債合計	5,578,112	22.3	5,258,546	21.4	3,807,370	16.4
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	2,187,615	8.8	2,187,615	8.9	2,187,615	9.4
2. 資本剰余金	2,521,825	10.1	2,521,825	10.3	2,521,825	10.9
3. 利益剰余金	14,827,701	59.4	14,760,787	60.2	14,877,682	64.0
4. 自己株式	△242,477	△1.0	△286,794	△1.2	△248,583	△1.1
株主資本合計	19,294,664	77.3	19,183,433	78.2	19,338,538	83.2
II 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	83,021	0.4	74,937	0.4	91,854	0.4
評価・換算差額等合計	83,021	0.4	74,937	0.4	91,854	0.4
純資産合計	19,377,685	77.7	19,258,370	78.6	19,430,393	83.6
負債純資産合計	24,955,798	100.0	24,516,916	100.0	23,237,763	100.0

(2)(要約)四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	31,746,776	100.0	27,523,998	100.0	40,200,617	100.0
II 売上原価	27,860,610	87.8	23,799,904	86.5	35,181,434	87.5
売上総利益	3,886,165	12.2	3,724,094	13.5	5,019,182	12.5
III 販売費及び一般管理費	2,943,067	9.2	3,617,794	13.1	3,781,077	9.4
営業利益	943,098	3.0	106,299	0.4	1,238,105	3.1
IV 営業外収益						
1. 受取利息	59,037		86,888		102,949	
2. 受取配当金	4,038		4,191		4,477	
3. 投資不動産賃貸収入	43,356		48,077		57,711	
4. その他の営業外収益	33,795	0.4	35,952	0.6	79,536	0.6
V 営業外費用						
1. 支払利息	2,043		2,730		2,703	
2. 投資不動産賃貸費用	22,021		22,562		31,045	
3. 投資事業組合費用	10,904		37,906		10,505	
4. その他の営業外費用	6,549	0.1	744	0.2	6,615	0.1
経常利益	1,041,806	3.3	217,465	0.8	1,431,909	3.6
VI 特別利益						
1. 固定資産売却益	1,345		274		1,345	
2. 貸倒引当金戻入益	174,079		—		234,610	
3. 役員退職慰労引当金戻入益	—	0.5	274	0.0	36,718	0.7
VII 特別損失						
1. 固定資産売却損	537		2,180		537	
2. 固定資産除却損	1,658	0.0	6,799	0.1	2,247	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,215,034	3.8	208,759	0.7	1,701,799	4.2
法人税、住民税及び事業税	456,232		347,099		616,446	
法人税等調整額	284,302	2.3	△203,266	0.5	560,835	2.9
四半期(当期)純利益	474,500	1.5	64,925	0.2	524,517	1.3

(3)(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,215,034	208,759	1,701,799
減価償却費	122,072	111,021	163,297
退職給付引当金の増加額(減少額:△)	△2,723	2,001	△5,606
役員退職慰労引当金の増加額(減少額:△)	24,250	23,005	△36,718
賞与引当金の減少額	△32,680	△28,010	△4,807
役員賞与引当金の増加額	35,025	—	—
貸倒引当金の増加額(減少額:△)	△171,122	596,500	△249,295
受取利息及び受取配当金	△63,076	△91,080	△107,427
支払利息	2,043	2,730	2,703
固定資産売却益	△1,345	△274	△1,345
固定資産売却損	537	2,180	537
固定資産除却損	1,658	6,799	2,247
投資不動産賃貸収入	△43,356	△48,077	△57,711
投資不動産賃貸費用	22,021	22,562	31,045
売上債権の増加額	△2,607,494	△2,821,897	△764,438
たな卸資産の減少額	280,707	78,051	224,031
仕入債務の増加額	2,010,064	1,595,772	248,715
未払消費税等の増加額(減少額:△)	70,248	△34,953	66,112
役員賞与の支払額	△56,600	—	△56,600
その他の流動資産・負債の増減額	△143,983	150,993	△59,466
その他	10,472	30,240	△23,231
小計	671,755	△193,672	1,073,842
利息及び配当金の受取額	62,306	78,401	83,558
利息の支払額	△2,043	△2,730	△2,703
法人税等の支払額	△423,053	△522,824	△423,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	308,964	△640,827	731,255
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
預入期間が3ヶ月を超える定期預金の増減額	△8,000	△22,200	△3,357,100
有価証券の取得による支出	—	△606,042	—
有価証券の償還による収入	—	600,000	—
投資有価証券の取得による支出	△57,093	△5,585	△58,952
有形固定資産の取得による支出	△89,616	△122,790	△122,621
有形固定資産の売却による収入	74,500	2,634	75,023
無形固定資産の取得による支出	—	△6,152	—
投資不動産による収入	43,356	48,077	57,711
投資不動産による支出	△10,525	△11,779	△15,701
貸付による支出	△673,120	△905,918	△1,019,254
貸付金の回収による収入	644,554	784,244	1,127,593
その他の収入	—	—	402,796
その他の支出	—	—	△192
その他	392,853	△4,036	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	316,911	△249,550	△2,910,696
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
自己株式の売却による収入	—	69	162
自己株式の取得による支出	△17,621	△38,311	△23,926
配当金の支払額	△170,701	△181,663	△170,762
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,322	△219,905	△194,527
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額(減少額:△)</b>	437,552	△1,110,283	△2,373,968
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	9,819,132	7,445,163	9,819,132
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期(期末)残高</b>	10,256,685	6,334,880	7,445,163

5. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	鮮魚の販売 事業 (千円)	餌料・飼料の 販売事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,949,208	8,582,058	215,509	31,746,776	—	31,746,776
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	246,550	246,550	( 246,550 )	—
計	22,949,208	8,582,058	462,060	31,993,327	( 246,550 )	31,746,776
営業費用	22,918,602	7,650,038	487,441	31,056,082	( 252,404 )	30,803,677
営業利益又は営業損失(△)	30,605	932,020	△25,381	937,244	5,853	943,098

- (注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社が行う事業の類似性を考慮して決定しております。  
 2. 営業費用は全て各セグメントに配賦しております。  
 3. 各区分に属する主要な品目は次のとおりであります。

部門	主要品目
鮮魚の販売事業	タイ、ハマチ、カンパチ、雑魚、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品
餌料・飼料の販売事業	生餌、配合飼料、モイストペレット等
その他の事業	一般貨物自動車

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	鮮魚の販売 事業 (千円)	餌料・飼料の 販売事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,917,970	8,395,998	210,030	27,523,998	—	27,523,998
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	254,125	254,125	( 254,125 )	—
計	18,917,970	8,395,998	464,156	27,778,124	( 254,125 )	27,523,998
営業費用	19,310,938	7,893,103	473,314	27,677,356	( 259,657 )	27,417,699
営業利益又は営業損失(△)	△392,968	502,894	△9,158	100,767	5,532	106,299

- (注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社が行う事業の類似性を考慮して決定しております。  
 2. 営業費用は全て各セグメントに配賦しております。  
 3. 各区分に属する主要な品目は次のとおりであります。

部門	主要品目
鮮魚の販売事業	タイ、ハマチ、カンパチ、雑魚(養殖魚及び天然魚)、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品
餌料・飼料の販売事業	生餌、配合飼料、モイストペレット等
その他の事業	一般貨物自動車

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

5. 会計方針の変更及び追加情報

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。また、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期の営業費用は「鮮魚の販売事業」が9,335千円、「餌料・飼料の販売事業」が3,078千円、「その他の事業」が70千円増加し、各営業利益も同額減少しております。

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

	鮮魚の販売 事業 (千円)	餌料・飼料の 販売事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	29,532,399	10,405,737	262,479	40,200,617	—	40,200,617
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	316,371	316,371	( 316,371 )	—
計	29,532,399	10,405,737	578,851	40,516,988	( 316,371 )	40,200,617
営業費用	29,389,036	9,284,223	613,259	39,286,519	( 324,007 )	38,962,511
営業利益又は営業損失(△)	143,363	1,121,513	△34,408	1,230,469	7,635	1,238,105

- (注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社が行う事業の類似性を考慮して決定しております。  
 2. 営業費用は全て各セグメントに配賦しております。  
 3. 各区分に属する主要な品目は次のとおりであります。

部門	主要品目
鮮魚の販売事業	タイ、ハマチ、カンパチ、雑魚、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品
餌料・飼料の販売事業	生餌、配合飼料、モイストペレット等
その他の事業	一般貨物自動車

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 5. 会計方針の変更  
 当連結会計年度より「役員賞与に関する会計基準」（企業会計基準第4号 平成17年11月29日）を適用しております。尚、この変更に伴う営業費用への影響はありません。